

R4 学校研究の概要

1. 学校研究主題

課題に沿った自分の考えを適切に表現できる児童の育成

～ICT 機器の効果的な活用を通して～

2. 学校研究主題設定の理由

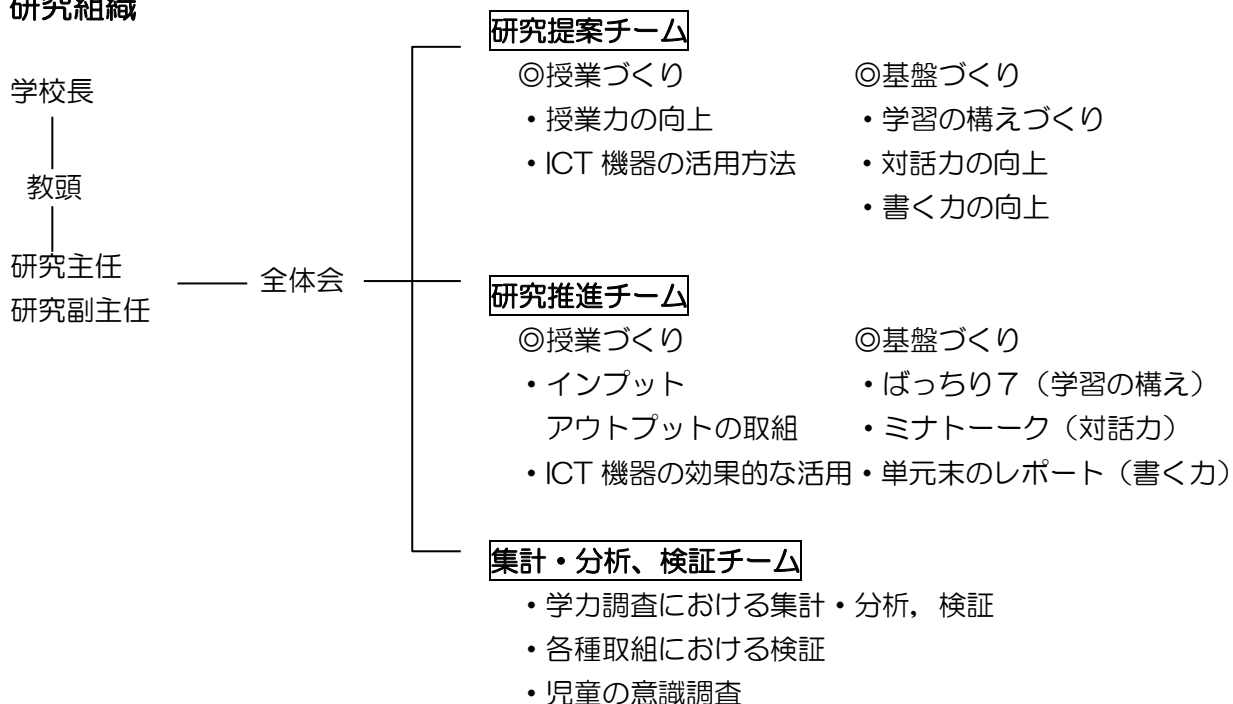
これまでの学校研究の積み重ねにより、学びの土台である「学びに向かう姿勢」が向上し、課題意識を持ちながら意欲的に学習に取り組めるようになってきた。昨年度は道徳科を中心に input と output の授業スタイルを構築し、他教科でも研究を進めてきた。さらに、教科のねらいを達成するための手立てとして ICT 機器を効果的に活用し、実践を深めてきた。

しかし、学力調査・アンケート等の分析から、題意を正確に捉えることができず必要な情報を選ぶことができない児童や自分の考えをもてない児童、考えをもてても表現することができない児童が少なくないことが課題としてあげられた。

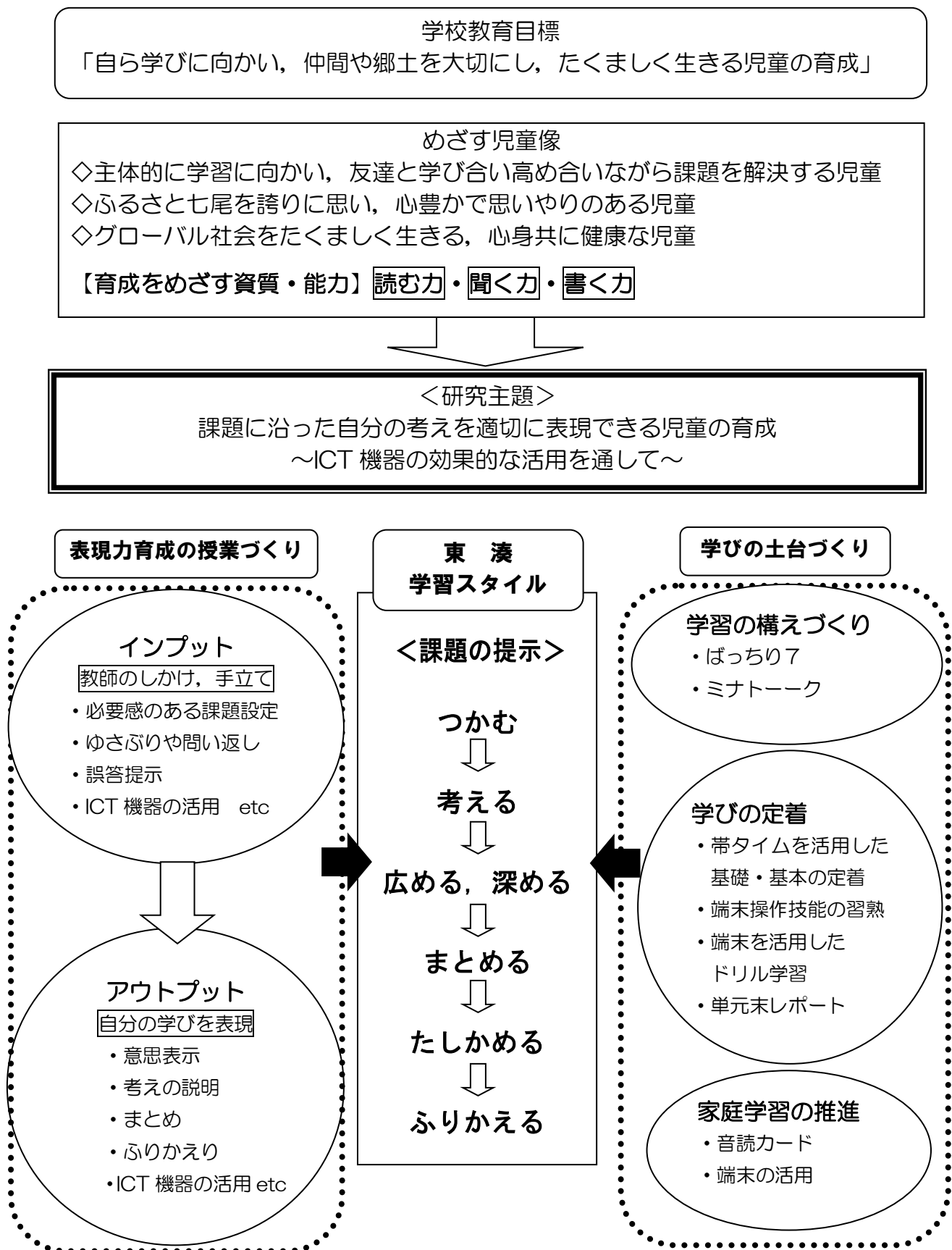
そこで、教師側の意図的な働きかけや対話的な学びにより課題に沿った自分の考えをもてるようにすること《インプット》が必要であり、表現スキルの育成と確実な見取り（表現の場）により、自分の思いや考えを表現できるようにすること《アウトプット》が必要であると考えた。

以上の理由から、今年度は、ICT 機器を効果的に活用しながら、自分の学びをアウトプットできる力の育成を図っていくことが重要であると考え、学校研究主題を『課題に沿った自分の考えを適切に表現できる児童の育成～ICT 機器の効果的な活用を通して～』とした。

3. 研究組織



4. 研究全体構想図



5. 学校研究計画（案）

	重点項目 および 取組内容	
4	校内研修	学校研究の全体計画の起案と検討 学力向上ロードマップの確認 学習規律の確認（研究二部会） 指導案の形式検討
5	校内研修	授業整理会の進め方
	授業研究	要請訪問 6年 社会（畑中）
6	授業研究	計画訪問 A 指定授業 2年 算数（石垣）
	校内研修	計画訪問時の課題の共通理解
7	校内研修	一学期の研究についての成果と課題 ・学力向上ロードマップの見直しと修正 ・児童アンケートの分析による成果と課題 ・ICT 機器の効果的な活用について成果と課題
8	校内研修	校内OJT（ICTの活用）
9	授業研究	スマイルサポート わかくさ 国語（萩原）
	授業研究	要請訪問 5年 社会（三宅）
	授業研究	初任者研修 3年 算数（伊藤）
10	授業研究	要請訪問 3年 国語（西脇）
	授業研究	要請訪問 あおぞら 算数（山本）高学年ブロック
11	授業研究	要請訪問 1年 算数（奥原） 低学年ブロック
	授業研究	要請訪問 4年 総合的な学習の時間（出島） 高学年ブロック
	授業研究	要請訪問 なかよし 自立活動（石田）低学年ブロック
	授業研究	要請訪問 4年 理科（三野）
12	校内研修	学力調査の分析（自校採点の結果から） ・県評価問題（5年：国語・算数・理科） ・結果の分析から見る今後の重点課題 二学期の研究についての成果と課題 ・学力向上ロードマップの見直しと修正 ・児童アンケートの分析による成果と課題 ・東湊スタイルによる成果と課題
1	校内研修	市学力調査の分析（自校採点の結果から） ・市学力調査（5年：国語・算数・社会・理科）（他学年：国語・算数） 結果の分析から見る今後の重点課題
2	校内研修	計画訪問 C 計画訪問時における課題 ・計画訪問時の課題の共通理解と対策 学力調査の分析（自校採点の結果から） ・県評価問題（5年：国語・算数・理科） ・結果の分析から見る今後の重点課題
3	校内研修	研究のまとめ／成果と課題の検証／次年度の研究テーマについて検討